

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あかいわ児童発達支援センター（児童発達支援 もみじの家）		
○保護者評価実施期間	7年 1月 7日		7年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	79	(回答者数) 74
○従業者評価実施期間	7年 1月 7日		7年 1月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている。	・限られたスペースを最大限に活用し、多様なこどものニーズに応じようとする工夫と努力に大きく支えられていると感じる。 ・グループに応じて環境を設定している。	・現状に満足せず、利用している子に合わせた環境作りを職員全員で考える。
2	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされている。	・支援計画の作成については、こどもの発達に合わせて支援するアセスメントシートや太田ステージ等のツールを使用し、個々のアセスメントをとるようにしている。それを懇談で丁寧に説明するよう心がけている。	・こどもたちのにとって適切な計画を作成し、保護者にも丁寧に伝え、一緒にこどもの育ちを支える。
3	事業所の職員から共感的に支援をしている。	・懇談で保護者の方の気持ちをしっかり聞き取る事で寄り添った計画ができています。 ・送迎時や連絡帳、必要に応じての懇談により、保護者との連携を丁寧にしている。また、こどものいい姿を保護者と共有できるようにしている。	・こどものいい姿を捉え、保護者と一緒に育ちを喜び合える関係づくりを今後も心がける。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が少ない。	多くの子は所属園があるので交流は難しい。所属園がない年長児に関しては保育園等に出向き交流する機会を設けている。	所属園がない年長児以外の子も、計画的に交流の機会を設ける。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供等の機会が少ない。	土曜日に2度開催したが、参加しづらい保護者もいた。	なるべく多くの方が参加できるよう、開催日や頻度について検討する。
3	きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援が少ない。	きょうだい児の集う機会を設けたが、周知方法が今一つできていなかった。	きょうだいが集える機会を見直し、様々な子同士が交流できる機会を設ける。

# 保護者等からの事業所評価の集計結果 あかいわ児童発達支援センター(児童発達支援)

回答数74／家庭数79(回収率93.7%)

公表日 令和7年3月14日

内容		ご意見				ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	69	2	0	3	・スペースが確保できる人数にしてくださっていると思います。 ・狭すぎず広すぎずで少人数での活動にちょうど良いスペースだと思う。 ・よく動くので、いっぱい走りまわってるんだらうと想像しています。・広い庭も有るし、遊具も有るし、室内も広い部屋があるので十分に確保されてると思います。
		93.2%	2.7%	0.0%	4.1%	
	2 職員の配置数や専門性は適切であると思いますか。	59	4	0	11	・しっかり皆さんで、関わってくださっています。誰に声をかけても、本人の事を把握されています。 ・よく見てくれている。適切だと思います。 ・個別でいろいろ教えて下さったり見てくださるので助かっています！
		79.7%	5.4%	0.0%	14.9%	
環境・体制整備	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境(子ども本人にわかりやすくすること)になっていると思いますか。また事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	70	1	0	3	・わかりやすいと思います。 ・配慮されている。
		94.6%	1.4%	0.0%	4.1%	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	72	0	0	2	・いつも綺麗にされていると思います。すごくきれい。 ・もみじは楽しいと本人は楽しみにしていて、居心地は良いと思います。 ・送迎に行ってもいつもキレイにされているなと思っています。 ・懇談時しか室内に入らないが、全体的に明るく綺麗な環境に思います。
		97.3%	0.0%	0.0%	2.7%	
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	66	4	0	3	・子供自身が楽しんで、ストレスなく行けていると思います。 ・滑舌が悪く相談したら、個人的に口の体操?の時間や用紙を頂けたことが嬉しかったです。 ・子供の成長を感じる。 ・懇談の時に、子どもにはこのやり方が合っていると思うなどいろいろ考えてくださっているなあと思いました。 ・もみじで整えられた環境だと出来る事が、家だと出来なかつたりします。家を出やすい特性もあるのかなと思います。 ・よく見てくれていると思います。 ・ちょっとでも出来る事が増えると、一緒に喜んでもらえて嬉しいです。通いはじめて数ヶ月ですが、ここ最近では少しのことで、成長したな、えらい!と思えるようになってきました。
		89.2%	5.4%	0.0%	4.1%	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容とあっていると思いますか。	66	0	0	6	・他事業所と連携して足並みを揃えてくださっています。 ・あっている。
		89.2%	0.0%	0.0%	8.1%	
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が作成されていると思いますか。	72	0	0	2	・組み込まれていると思います。 ・理解してくれている。
		97.3%	0.0%	0.0%	2.7%	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	62	3	0	9	・早めに進級にあわせグループ移行して下さったりと、新年度本人のストレスが少しでも和らぐよう支援してくださっていると思います。 ・できることが増えている。
		84%	4.1%	0.0%	12.2%	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	72	0	0	2	・出来ているとおもいます。 ・助かります。
		97.3%	0.0%	0.0%	2.7%	
10 活動プログラムが固定化しないよう工夫されていると思いますか。	66	3	0	5	・季節に応じたいろいろな体験をさせて頂いていると思います。 ・新しいことを取り入れている。	
	89.2%	4.1%	0.0%	6.8%		
11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	33	9	11	21	・保育園に在籍しています。	
	44.6%	12.2%	14.9%	28.4%	所属園がない子ども、年長児を中心に保育園等に出向き交流する機会を設けています。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	71	3	0	0	・しっかり説明受けました。 ・とても丁寧だった。	
	95.9%	4.1%	0.0%	0.0%		

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか。	73	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談を含めてくださっているので、わかりやすいです。</li> <li>・面談等で説明してくれる。</li> </ul>	
			98.6%	0.0%	0.0%	1.4%		
保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供等の機会が行われていますか。	64	3	0	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の都合上参加はなかなか難しいですが、定期的にお知らせ頂いています。</li> <li>・スクリーンを活用している。</li> <li>・参加したいが、兄弟がいて、預けられないので参加することはできない。</li> </ul>	土曜日に2度開催しました。なるべく多くの方が参加できるように、開催日や頻度について検討します。
			86.5%	4.1%	0.0%	9.5%		
保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	68	5	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談で子供の様子を教えていただき、ありがとうございます。連絡帳にも細かに様子を見て記入して下さっており、毎回楽しみにしています。</li> <li>・連絡帳や、用事があって電話した際にしっかり教えてくださいます。</li> <li>・迎えの時間によく教えていただいています。</li> <li>・施設での子供の様子や、成長したところを担当の先生にお会いした時は、丁寧にしっかりと教えてくださっていて、ありがたいと思っています。</li> <li>・共感してもらえてると感じられ、安心します。</li> </ul>	今後も子どもたちのいい姿について、保護者の方と共有しながら、一緒に子どもたちの育ちを支えたいです。
			91.9%	6.8%	1.4%	0.0%		
保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	71	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に療育施設に通い始めたばかりの時は、発達の遅れに戸惑い、何をしたらいいのかわからない時は、これからどうしていけばいいのか、どのように療育はしていくのかなどしっかりと教えてくださいました。それからも発達の経過に合わせて家で何をしたらいいか教えてくださっています。〇〇はできていますか など確認してもらっています。</li> <li>・まだ入所したばかりなので、これからだと思っています。</li> </ul>	
			95.9%	2.7%	0.0%	1.4%		
保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	67	1	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来たことを嬉しそうに伝えてくださるので、心の底から喜んでくださっているのが伝わります。</li> <li>・支援されているところをほとんど見てないのでわかりません。</li> <li>・面談でそう思う。</li> </ul>	
			90.5%	1.4%	0.0%	4.1%		
保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	44	8	2	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きょうだい向けのイベントは無いように思います。</li> <li>・兄弟がいるので参加できない。</li> </ul>	保護者会役員の方々が、環境整備等を開催してくださいました。きょうだい児の集まりについても、実施はしていますが、周知方法や実施内容を再検討します。
			59.5%	10.8%	2.7%	27.0%		
保護者への説明等	19	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者にそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	59	7	0	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ていると思います。</li> <li>・言語の発達が遅いので対応して欲しい。</li> <li>・言語支援をしてほしい。</li> <li>・相談や申し入れをしたことがないのですみません。</li> </ul>	職員体制上、個別での言語支援が十分できていません。職員体制を確保しながら、個別での言語療育や、グループ活動でも取り組めることを模索します。
			79.7%	9.5%	0.0%	10.8%		
保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	72	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題ないです。</li> </ul>	
			97.3%	1.4%	0.0%	1.4%		
保護者への説明等	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果が子どもや保護者に対して発信されていますか。	65	5	0	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも楽しくみてます。</li> </ul>	ホームページだけでなく、より発信できるツールも検討します。
			87.8%	6.8%	0.0%	5.4%		
保護者への説明等	22	個人情報の取り扱いに十分留意されていると思いますか。	70	1	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題ないです。</li> </ul>	
			94.6%	1.4%	0.0%	4.1%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルが策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	53	4	1	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施されていると思います。</li> </ul>	各種マニュアルは整備しています。また、事業所の入り口にファイルを置いてありますので、お手すきの際にぜひご覧ください。
			71.6%	5.4%	1.4%	21.6%		
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	54	2	1	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施されていると思います。</li> </ul>	毎月、避難訓練等実施をしています。施設だより等で、様子について発信します。
			73.0%	2.7%	1.4%	23.0%		
非常時等の対応	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	60	3	0	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徹底されていると思います。</li> </ul>	
			81.1%	4.1%	0.0%	10.8%		
非常時等の対応	26	事故等(怪我を含む)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	60	3	1	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徹底されていると思います。</li> </ul>	
			81.1%	4.1%	1.4%	10.8%		
非常時等の対応	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	70	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ている。</li> </ul>	
			94.6%	1.4%	0.0%	1.4%		
非常時等の対応	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	69	2	0	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園行き渋りがあっても、もみじの家には行きたがります。毎回、何に取り組んだのか楽しそうに教えてくれます。</li> <li>・とても楽しみにしています。</li> <li>・聞いても意思がわかりません。</li> </ul>	
			93.2%	2.7%	0.0%	4.1%		

満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	71	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプの時は現地に支援に行ってくださいたり、きめ細かい支援をしていただいで感謝しております。おかげさまで、日々成長を感じられます。ありがとうございます。</li> <li>・面談の時、色々教えてください。就学してから生活しやすいためにこれからしておいた方がよいことのアドバイスもあり4月以降取り入れたいと思っています。</li> <li>・出社時間や退社時間の関係で、先生にお話したいことがあっても、なかなかお話しすることが出来ません。困り事が変化したような、広がったような、そんな感じがあって、1度お話をさせてもらった方がいいのかな…?と思っても、お話出来る時がなく…。やっぱり平日の日中しかお話しは出来ませんよね?</li> <li>・本人の特性に対しての配慮の仕方やこういう気持ちでこういう行動になっているんだと勉強になることも多々ありました。数年間療育に通い、成長を感じることもありました。もみじに通ってよかったと感じています。ありがとうございます。</li> </ul>
			95.9%	4.1%	0.0%	0.0%	

公表 事業所における自己評価結果

あかいわ児童発達支援センター（児童発達支援 もみじの家）

公表日 令和7年3月14日

項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
①利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児の人数や様子、課題によって変え対応している。個別空間も仕切りをすることで確保できている。</li> <li>・各部屋の基準以内のグループ人数にしている。</li> <li>・限られたスペースを最大限に活用し、多様なこどものニーズに応じようとする工夫と努力に大きく支えられているのが現状ではと感じます。</li> </ul>	
②利用定員やこどもの状態などに対して、職員の配置数はあるか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員の基準は満たしている。</li> <li>・人員は満たしているが、配慮の必要な子が多い日は、人員に余裕が欲しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員は満たしているが、個々の特性や状態に合わせ、余裕を持った職員配置の工夫が必要。</li> </ul>
③生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに応じて環境を設定している。</li> <li>・視覚化していて分かりやすい。</li> <li>・スケジュール、顔写真等子どもが見てわかる工夫を取り入れている。</li> <li>・部屋の構造化に関しては刺激になりすぎないように用途を決めすぎずに個々の必要に応じて準備をし、臨機応変に対応できるようにしている。</li> <li>・絵カードを使用し、分かりやすくしている。</li> </ul>	
④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに応じて環境を設定している。</li> <li>・毎日職員全員で清掃し、常に綺麗に保っている。</li> <li>・心地よく過ごせる環境だと思う。</li> </ul>	
⑤必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・パーテーション等で区切り、落ち着ける空間は提供している。</li> <li>・職員同士で話し合っ、棚で仕切るなどして場所をこどもに提供できている。</li> <li>・クールダウンなど緊急にいつでも利用できる場があれば安心ですが、共通理解があるかどうかよく分かっていません。</li> </ul>	
⑥業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのグループの担当同士ではできているところが多いと思う。</li> <li>・クラスの担当同士で活動の前後にコミュニケーションをとれている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が参画できるような工夫は必要だと感じる。</li> </ul>

			<p>こと、またその内容をミーティングで全職員と共有できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食室以外はできているのだと思います。</li> </ul>	
⑦保護者等向け評価表により保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に一度、保護者の施設に対する評価アンケートを行っている。</li> <li>・土曜療育で保護者の意向を把握する場を設けている。</li> </ul>	
⑧職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議や日々のミーティングの中で行っている。</li> <li>・ミーティングや職員会議で意見を言える場がある。</li> <li>・毎日のミーティングやその都度気になる事は伝えたり、聞いたりするようにしている。</li> </ul>	
⑨第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施していないため、検討は必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、第三者評価等の導入を検討する。</li> </ul>
⑩職員の資質の向上を行うために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン研修も含め、施設外の研修に参加する機会を設けている。</li> </ul>	
⑪適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公表をしている。</li> </ul>	
⑫個々のこどもに対して、アセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの発達に合わせて支援するアセスメントシートや太田ステージ等のツールを使用し、個々のアセスメントをとるようにしている。</li> <li>・懇談で保護者の方の気持ちをしっかり聞き取る事で寄り添った計画ができていると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントを行い、より具体化した達成しやすい目標設定となるようにする。</li> </ul>
⑬児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもに直接支援を行っている職員と検討会議を行い作成している。</li> <li>・作成時だけでなく、こどもたちに合わせてどんな支援が必要なのか、普段から話をしている。</li> </ul>	
⑭児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のミーティングで支援について振り返る機会を設けている。</li> <li>・計画に目を通し、また作成した計画を職員間で見てもらい、この計画を入れているから、どの活動をしたら良いか相談しながら取り組んでいる。</li> </ul>	
⑮ こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの発達に合わせて支援するアセスメントシートを使用し、日々の様子の記録をとっている。</li> <li>・行動観察、特性やどのようなときに不適応行動が起こりやすいか等の分析は日々行いながら試行錯誤しながら対応している。</li> <li>・普段と違う時には、職員と共有したり、記事として書いたりして</li> </ul>	

			いる。	
⑩児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・支援計画に組み込むようにしている。	
⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・グループ毎に担当が話し合い活動プログラムをきめている。	
⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・こどもたちの様子に合わせて工夫をしている。	
⑬こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか	○		・個々の課題に合わせて、個別に活動をする時間も設けている。 ・職員間で連携を取りながら、こどもの状態に応じて対応している。	
⑭ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	○		・送迎で打ち合わせができてないことが時々あるが、臨機応変にはできていると思う。 ・グループ毎に担当で支援内容について話しあっている。	
⑮支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・ミーティングで支援についての振り返りを行っている。 ・こどもの表情や行動で感じた些細なことでも話をするようにしている。	
⑯日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・記録はとっている。支援にしっかりつながるようにしていきたい。 ・徹底は出来ていないが、気になったことは職員間で共有している。	
⑰定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	○		・半年に一回行っている。	
⑱障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況を良く理解したものが参画しているか	○		・参加できる時間帯で依頼し、なるべく児童発達支援管理責任者と担当とで参加できるようにしている。	
⑳地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	○		・『はい』だが、もう少し密に連携をとりたい機関もある。	・普段から関係機関等との連携を密にし、ケースに合わせてすぐに対応できるようにしておく。
㉑併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。保育所や	○		・関係機関の連携等で連携を取れる園も増えてきている。	・今よりもう少し情報共有を密にしたい。

認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園部）等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
②⑦就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・卒所前にそれぞれの就学先に資料を作成し渡すようにしている。	
②⑧地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取り組みなどを行っているか		○		・定期的に情報交換会を行い連携が図れるようにする。
②⑨質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか	○		・専門家の助言はもらえていない。そういう方との連携も欲しい。 ・オンライン研修も含め研修に参加する機会を設けている。 ・積極的に出来ていない。	
③⑩（自立支援）協議会、こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・自立支援協議の部会に参加している。	
③⑪地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか				
③⑫保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか	○		・年長児に関してはできるだけしようとしている。	・地域のこどもたちと関わる機会を増やしていきたい。
③⑬日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・連絡帳や送迎時に情報共有を行っている。送迎時に会えない保護者には電話や相談時間を設けている。	
③⑭家族の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	○		・ペアレントプログラムや座談会を行った。	
③⑮運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・面談や契約時に説明を行っている。	
③⑯児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設	○		・困ったこと確認シートや面談や懇談等で家族の意向を聞くようにしている。	



けているか				
⑳「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・直接説明する機会を設けている。	
㉑定期的に家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	○		・懇談や必要に応じて面談時間を設けている。	
㉒父母の会の活動を支援することや、保護者会などを開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	○		・座談会を行う。参加しやすい工夫が必要だと感じる。	・参加しやすい日程、開催方法の工夫が必要だと思われる。
㉓子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・個別懇談や直接話をする時間を作り相談をうけている。	
㉔定期的に通信等を発行することや、HP や SNS 等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・定期的にホームページの更新や、月に一回施設だよりを発行している。	
㉕個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・個人情報のあるものは、鍵のかかる場所で保管している。	
㉖障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・視覚的に分かりやすくするなど工夫している。	
㉗事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・そういう機会は少ない。どうことができるのか検討も必要。 ・近隣の方を夏祭りに招待し、事業所を知ってもらう機会を設けている。	・今後も地域へ出かけたり、招待したりする機会を作る。
㉘事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・マニュアルは誰でも見える場所に置いている。 ・職員間のみで家族までの周知には至っていないと思われる。	

④⑥業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・計画があるのは知っている。	・さまざまなことを想定した研修や訓練を定期的に行う。
④⑦事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・こどもの状況について一覧を作成し、周知している。	
④⑧食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・アレルギーの診断書を基に対応をしている。 ・検食出す前に再確認し、食札をつけて提供するようにしている。	
④⑨安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○		・毎月避難訓練を行っている。	
⑤⑩こどもの安全確保に関して、家族等と連携が図られるよう、安全規格に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか	○		・家族への周知はできていないように感じる。	
51 ヒヤリハット事例集を事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか	○		・掲示と職員会議で周知を行っている。	
52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・職員会議で話し合いの場を設けている。	
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・利用児の中には身体拘束について支援計画に記載したケースはないが、職員会議で身体拘束規程を基に話し合いをした。	・制限や禁止など身体拘束の適正化についての話し合いを行う場を設ける。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あかいわ児童発達支援センター（保育所等訪問支援 てつなぎ）		
○保護者評価実施期間	7年 1月 7日		7年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	7年 1月 7日		7年 1月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	7年 1月 7日		7年 1月 7日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 14日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援ができています。	保護者や学校と連携し、その子が困っていることを理解・共有したことで丁寧に支援ができています。	引き続き、保護者・学校、そして本人からの困り感を捉え、丁寧に支援を行う。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていない。	訪問先の教具等を使っている。	必要であれば、支援ツールを用意する。
2	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減できていない。	その時は解消できるが、時間がたつと新たな課題等が出てきます。	訪問回数を増やし、より丁寧な支援ができるようにする。
3			

# 保護者等からの事業所評価の集計結果 あかいわ児童発達支援センター(保育所等訪問支援)

回答数2／家庭数2(回収率100%)

公表日 令和7年3月14日

内容		ご意見				ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	0	0	0	2	・教材教具があることを知らない。 こどもたちへの支援を分かりやすく、保護者にも伝えます。
		0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2	0	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1	1	0	0		
	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員(職種や人数)体制だと思えますか。	0	1	0	1	・てつなぎを利用するこどもの全体数が分からないため、判断できない。	
	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%		
適切な支援の提供	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	2	0	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画(個別支援計画)が作成されていると思えますか。	2	0	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	8 保育所等訪問支援計画(個別指導計画)には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	1	0	0	1	
		50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	1	0	0	1		
	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	1	0	0	1		
	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	1	0	0	1		
	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	1	
		50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供等の機会が行われていますか。	1	0	0	1		
	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
15 必要な時にこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	1	1	0	0		
	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		

内 容		てつなぎ						
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	1		
			50.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0		
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	18	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者にそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	0		
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	0	0	0		
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2	0	0	0			
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有が成されていると思いますか。	2	0	0	0			
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果が子どもや保護者に対して発信されていますか。	0	0	0	2			
		0.0%	0.0%	0.0%	100.0%			
24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	0			
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
非常時等の対応	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	0	0	0	2		
			0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	0	0	0	2			
		0.0%	0.0%	0.0%	100.0%			
満足度	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2	0	0	0		
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
28	事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0		職員体制で動けない時期がありました。今後は、皆様のニーズに合わせて、定期的に訪問・支援できるようにします。	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

## 保護者等からの事業所評価の集計結果      あかいわ児童発達支援センター(保育所等訪問支援)

回答数2／家庭数2(回収率100%)

公表日 令和7年3月14日

内容		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2	0	0	0	・具体的な場面や事例についての助言がわかりやすくてよかったです。	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2	0	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2	0	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	1	0	0	・日によっても姿は違うので、解消ということは難しく、長い目で見て時々合った対応が必要だと感じています。	
		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
5	事業所からの支援に満足していますか。	2	0	0	0	・園からの様子を伝えるだけでなく、第三者の目から見た支援の必要性などをおうちの方に伝えていただくことで、より踏み込んだ話が園と保護者の間でしやすくなるように感じています。	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

公表 事業所における自己評価結果

あかいわ児童発達支援センター（保育所等訪問支援 てつなぎ）

公表日 令和7年3月14日

項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
①訪問支援に使用する教具材料は適切であるか	○			
②利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか	○			
③業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
④保護者等向け評価表により保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		・今年度より保護者評価を実施する。	
⑤職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		・会議やミーティングを行っている。	
⑥第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・外部評価は行っていない。 ・第三者の外部評価機関の有無とその評価内容の情報をまだ知り得ていません。	
⑦職員の資質の向上を行うために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	○		・センター内で参加した研修の報告を聞く機会を設けている。	
⑧個々の子どもに対して、アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか	○		・相談支援のアセスメントや保護者の意向を取り入れ作成している。	
⑨保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○		・支援にかかわる職員と検討会議を行っている。	
⑩保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか	○		・訪問時やアセスメントシートにより、意向を聞くようにしている。	

⑪保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○		・計画は職員間で共有し支援にあたっている。	
⑫こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○		・利用している事業所の情報を共有してもらったり、個々に応じたアセスメント方法を使用したりしている。	
⑬保育所等訪問支援計画計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき支援」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・半年に一回モニタリングを行っている。 ・こどもの実態や環境の把握、アセスメント結果等に頼りすぎず、ガイドラインを具体的に活用することで、支援内容の客観性を高めるとともにより豊かなものにするよう努める。	
⑭保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか	○		・計画は職員間で共有し支援にあたっている。	
⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	○		・訪問前にはミーティングを行っている。	
⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・訪問後にはミーティングを行い、振り返る場を設けている。	
⑰保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか	○		・訪問先に話をじっくり聞く場を設け、支援内容等尊重するようにしている。	
⑱毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・支援後には報告書を作成し、記録に残すようにしている。	
⑲定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	○		・半年に一回モニタリングを行ったり、訪問時に見直しを行ったりしている。	
⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況を良く理解したものが参画しているか	○		・児童発達支援管理責任者や訪問支援員が参加するようにしている。	
㉑地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	○			
㉒就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			



⑳質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか	○		・センター内で参加した研修の報告を聞く場を設けている。	
㉑（自立支援）協議会、子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・自立支援協議会の各部会に参加している。	
㉒日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○	・気軽に相談できる工夫をしていきたい。	
㉓家族の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	○		・センター内の座談会や勉強会に参加できるようにしてもいいかもしれない。 ・支援の必要な家族について関係機関と連携して取り組みを進める。	
㉔運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に直接説明するようにしている。	
㉕訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか	○		・訪問に入る際には、直接説明する機会を設けている。	
㉖保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○		・面談やアセスメントにより意向を確認し、計画に取り入れている。	
㉗「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか	○		・直接話をする機会を設けている。	
㉘定期的に家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	○		・随時受け付けているため、定期的な機会は設けていない。	
㉙父母の会の活動を支援することや、保護者会などを開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	○		・放デイや児発を併用している保護者は参加している。	
㉚こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・定期的に話ができる体制を整えたい。	

③④定期的に通信等を発行することや、HP や SNS 等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか		○	・情報を発信できる体制を整えたい。	
③⑤個人情報の取扱いに十分留意しているか	○		・個人情報は鍵のかかる場所で管理している。	
③⑥障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・視覚的に分かりやすくするなどの工夫をしている。	
③⑦訪問支援に加え、訪問先からの相談等に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか	○		・気軽に相談できる工夫が必要。	
③⑧保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか	○			
③⑨保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか	○		・訪問実施後に、直接話をする機会を設けている。	
④⑩個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・個人情報は鍵のかかる場所で管理している。	
④⑪訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか	○		・気軽に相談できる工夫が必要。	
④⑫事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・マニュアルは誰でも閲覧できる場所に置いている。	
④⑬安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○		・マニュアルに沿って対応できるようにしている。	
④⑭ヒヤリハット事例集を事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか	○		・掲示をし周知している。	
④⑮虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・外部の研修に参加したり、ケース会議をしたりしている。	

④⑥どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・担当している児童の中には、身体拘束を記載したケースはない。	
---	---	--	--------------------------------	--

社会福祉法人 岡山こども協会

○あかいわ児童発達支援センター もみじの家

・放課後等デイサービス こぶしの家

○放課後等デイサービス あんずの家

○児童発達支援・放課後等デイサービス かえでの家



作成年月日 令和7年2月25日

わたしたち岡山こども協会は

いつでもだれでも

私たち法人を必要とするすべての方に門を開いています。

一人ひとりを大切に

子どもたち一人ひとりが、友だちとともに豊かな経験ができるようにします。

おとなも育つ

親・保育者・地域の子どもをとりまくおとなが、子どもとともに育つ場所にします。

新たな一歩

社会や地域のニーズに目を向け、社会福祉施設として、幅広い世代を支える事業を進めます。

を目指します。

法人理念

## 『生きる力』を育みます。

生活する力

【健康・生活】身辺自立、社会生活に必要なスキルをスモールステップで身につけられるよう支援します。

【認知・行動】生活スキルやマナー、公共機関の利用方法など社会生活に必要なスキルをご家族と協力しながら伝えていきます。

人とかかわる力

【言語・コミュニケーション】自己表現の方法を子どもや保護者と一緒に考えていきます。

【人間関係・社会性】自由時間の過ごし方や友だちとの交流の仕方など、小集団の中で身につけられるよう支援します。

【人間関係・社会性】人とより良い関係が作れるよう子どもにあった方法で伝えます。

学ぶ力

【健康・生活】個々の子どもが活動しやすい環境設定に努めます。

【人間関係・社会性】「楽しめること」「わかること」を見つけ、そのことが子どもの「強み」になるよう支援します。

【言語・コミュニケーション】質問したり、援助要求を出したりする方法を身につけられるよう支援します。

【運動・感覚】あそびや活動を通して、指先の巧緻性や身体を使う力を養います。



家族支援

- ・懇談の実施
- ・連絡帳を介した子どもの情報共有
- ・支援内容に関する情報発信
- ・つながるカフェ

移行支援

- ・ライフステージの切り替えを見据えた取り組み
- ・在籍園・校や就学先、就労先との情報共有

地域支援・地域連携

- ・在籍園・校との情報共有
- ・地域資源の活用
- ・同敷地内療育施設との交流

職員の質の向上に資する取組

- ・経験年数に応じたフォローアップ研修や法人内研修の実施
- ・障がい理解を深める県内外の研修への参加

連携した療育の実施

あかいわ児童発達支援センターでは就学前から18歳までのお子さんを対象に継続した療育を実施しています。相談支援事業、保育所等訪問支援事業、所属園、在籍校との連携など様々な角度から総合的に一人ひとりの子どもの育ちの連続性を意識した支援を行っています。

主な行事等

- ・季節に応じたイベント ・夏まつり
- ・おでかけ体験（こぶし） ・避難訓練（月1回）
- ・入所児歓迎会、卒所式 他